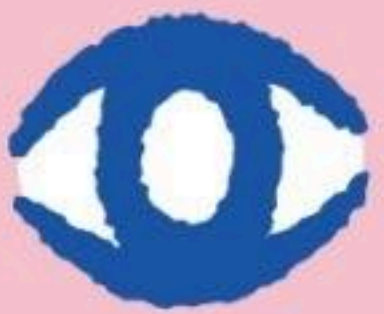


なは又とダ

イ ア ロ 〜 グ

第4回

カメラを「め



」にして

街を見てもみよう!

あつまれ!ちいさな
写真家たち!  

講師



上原 沙也加
—写真家

高橋 健太郎
—フォトアーティスト

2023

2/23(木・祝) 14:00-17:00

那覇文化芸術劇場なは一と

1F 小スタジオ 参加費 / 無料

定員 / 小・中学生 20名

小学生は保護者付き添い、中学生は本人だけでの参加可

申込 / Googleフォーム <https://bit.ly/3jSBAvd>



☎098-861-7810 または

なは一と総合受付にて 10:00-19:00

※雨天決行(雨具は各自ご用意ください)。

カメラは主催者側で参加者人数分用意。子どもたち

とカメラの保険にも主催者側で加入します。

撮影中、保護者の方々にはなは一とで待機しながら

子どもたちの様子を見ていただく事も可能です。

見学のみの
出入りも
OK!

2022
—23

なはととダイアログ2022-23

第4回 カメラを目にして街を見てみよう!

2023

2月23日(木・祝) 時間 / 14:00-17:00

定員 / 小・中学生 20名 参加費 / 無料

(小学生は保護者付き添い、中学生は本人だけでの参加可)

申込 / Google フォーム <https://bit.ly/3jSBAvd>

☎098-861-7810、またはなはと総合受付にて(10:00-19:00)



市民と行政の対話を試み、様々なアプローチでイベントやシンポジウムを行ってきた「なはととダイアログ2022-23」も第4回。今回でそのサイクルが一周し、ひとまずここで今期最後の開催となります。そこで第1回にチャレンジした「子どもたちのワークショップ作りのためのワークショップ」。

そこからもらった多くのアイデアから少しずつヒントを得て、組み合わせた

「写真×ワークショップ」を答え合わせとして開催します!

スマホを使って誰でも手軽に写真を撮れるようになった今

だから、少し不自由な「カメラ」という装置を通して

写真を撮ることの意味や面白さを知り、写真と言葉で

遊んでみよう!というワークショップです。撮影には

リコーの「GR」というズーム機能のないカメラを

使用。被写体を呼び込むのではなく、自分が近づいて

いく、という体験をします。

同時開催!

なはとリビング化計画

子どもたちの撮影時間中、おとなたちはみんなのリビングになったなはとで思い思いの時間を過ごして下さい。こちらは保護者・付き添いの方以外も参加可能です。

講師



上原 沙也加

—写真家

高橋 健太郎

—フォトアーティスト

スタッフ



石垣 綾音 ファシリテーター

「人と土地をつなぐ、コミュニティをエンパワメントする」をモットーに、「こみゆとば」として県内各分野の個人や団体とコミュニティと場づくりに関する活動を行なう。



林立騎 司会

那覇文化芸術劇場なはと企画制作グループ長。訳書にイェリネク『光のない。』、レーマン『ポストドラマ演劇はいかに政治的か?』。ドイツの劇場勤務を経て、22年より現職。



中谷 駿吾 記録

シネマトグラファー。1992年、富山県生まれ。沖縄県内にて映画製作・配給を行う(株)ムーリンプロダクション代表。主な撮影作品に『緑の牢獄』など他多数。



福地 リコ 記録

映画作家・ライター。1993年、沖縄県恩納村生まれ。沖縄を拠点に映画制作を行う。監督作に『BOUNDARIES』、『Childhood's end』他。

那覇文化芸術劇場なはと

NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHArt



沖縄県那覇市久茂地3丁目26-27 tel.098-861-7810

バス

①若松入口 徒歩約6分 ②松尾一丁目 徒歩約6分
③久茂地公民館前 徒歩約2分 ④松尾 徒歩約6分
⑤沖銀本店前 徒歩約6分

モノレール

⑥県庁前駅 徒歩約6分
⑦美栄橋駅 徒歩約6分

※駐車場は関係者専用となりますので公共交通機関をご利用ください

※ご来場前に、なはとWEBサイトにて「那覇文化芸術劇場なはとにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を必ずご確認ください。

